

気候情報

2013年3月の日本の天候

- 東日本以西で顕著な高温
- 東・西日本では降水量がかなり少なかった
- 月のはじめに暴風雪

3月の天気概況

月のはじめに、発達しながら日本海から北海道を通過した低気圧や通過後の冬型の気圧配置の影響により、北日本を中心に暴風雪となり、人的被害のほか交通障害の発生など、大きな影響が出た。その後は、短い周期で北日本付近を低気圧や前線が通過し、低気圧の通過後は一時的に冬型の気圧配置となり、北日本は日本海側を中心に曇りや雪または雨の日が多かった。

一方、東日本以西も、月を通じ短い周期で天気に変化したが、移動性高気圧に覆われることが多く、月降水量は東・西日本でかなり少なく、月間日照時間は西日本日本海側、沖縄・奄美でかなり多かった。また、南からの暖かい空気の影響をたびたび受け、東日本以西では月平均気温がかなり高くなったが、日々の変動も大きかった。

上旬：1日から2日にかけて低気圧が発達しながら日本海から北海道に進み、北日本を中心に非常に強い冬型の気圧配置となった。このため、北日本の広い範囲で暴風雪となり、人的被害のほか交通障害の発生など、大きな影響が出た。その後は、東日本以西では、移動性高気圧に覆われることが多く、晴れの日が多かった。また、旬の後半を中心に、南からの暖かい空気の影響を受けた日が多く、気温も高くなった。特に東日本の旬平均気温は、平年差が+2.6℃となり、3月上旬としては統計を開始した1961年以降で最も高い値を更新した。一方、北日本は、その後も短い周期で低気圧や前線の影響を受け、曇りや雪または雨の日が多かった。特に北日本日本海側では、旬降水量が平年比180%となり、3月上旬としては統計を開始した1961年以降で最も多い値を更新した。また、風の強い日が多く、10日は関東で煙霧や風じんを観測した。

中旬：短い周期で低気圧や前線と高気圧が交互に日本付近を通過し、天気は周期的に変化したが、低気圧は北日本付近を通過することが多く、北日本日本海側を中心に曇りや雨または雪の日が多かった。一方、東日本以西では、移動性高気圧に覆われ、晴れた日が多かった。

下旬：日本付近は、高気圧と低気圧が交互に通過したが、北日本は、冬型の気圧配置で寒気の影響を受けた日も多かった。低気圧は、沿海州からオホーツク海を通ったり、日本の南を通ったりすることが多く、北日本から西日本にかけて降水量が少なく、沖縄・奄美

では多かった。

3月の気候統計

月平均気温：東・西日本、沖縄・奄美でかなり高く、東日本で平年を2℃以上上回り、西日本、沖縄・奄美では平年を1℃以上上回った。

月降水量：東・西日本でかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。一方、北日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。

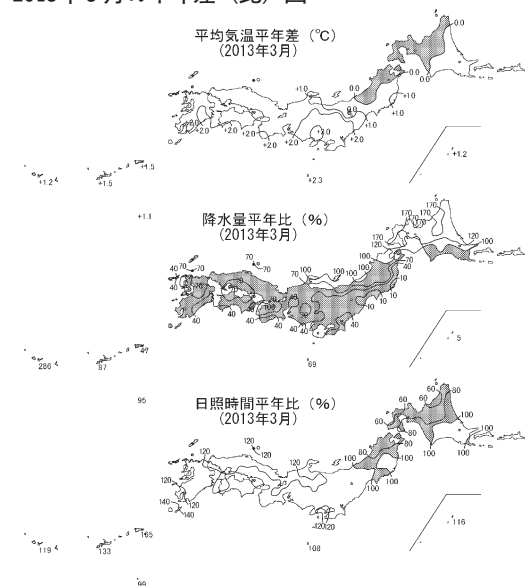
月間日照時間：西日本日本海側、沖縄・奄美でかなり多く、東日本日本海側、東・西日本太平洋側で多かった。一方、北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

3月の記録(1位更新のみ)

- ・月平均気温高い方から(℃)
宇都宮 9.6 静岡 13.3 延岡 12.8 高知 12.7
など26地点
- ・月降水量多い方から(mm)
小樽 155.0 西表島 414.0
- ・月降水量少ない方から(mm)
仙台 3.0 福島 2.0 福井 79.5 鳥取 57.0
など8地点
- ・月間日照時間多い方から(時間)
屋久島 167.4
- ・月間日照時間少ない方から(時間)
羽幌 70.6 留萌 77.6
- ・降雪の深さ月合計値多い方から(cm)
紋別 118

2013年3月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。